

さんべ版

カローリングの ルールについて



国立三瓶青少年交流の家



CUROLLING (カローリング)

- カローリングは、氷上のスポーツ〈カーリング〉をモデルに1993年愛知県名古屋
屋市で誕生した新しいスポーツです。
- 「ジェットローラー」と呼ばれる、底に3つの車輪がついた円盤を11m離れたポイ
ントゾーンを目指して滑らせ、ぶつけ合いをしながら得点を競い合います。
押し出す力加減やテクニック、チームワークが必要になってきます。
- 年齢や性別、体力など関係なくだれでも気軽に参加でき、チームの技術を競う
楽しみや世代を超えてスポーツを楽しむとすることができるスポーツです。

CUROLLING (カローリング) 基本ルール

- 1 チーム (3~6 人)
- 6 個のジェットローラーを



ポイントゾーンを目指して交互に投球する。

※どちらのチームが始めに投球するかはじゃんけんで決める。

※2イニング以降は、前イニングで勝ったチームが先攻となる。



正しい投球フォーム

スローライン外側の床に片ひざまたは両ひざをつけて、2, 3回前後に軽くすべらせ、押し出すように投球する。

※投球の時、足が投球ラインを超えるとアウト、オンラインはセーフ。※走りながらの投球はアウト。※投球する前に手がライン内の床面に付いた場合はアウト。

画像：日本カローリング協会

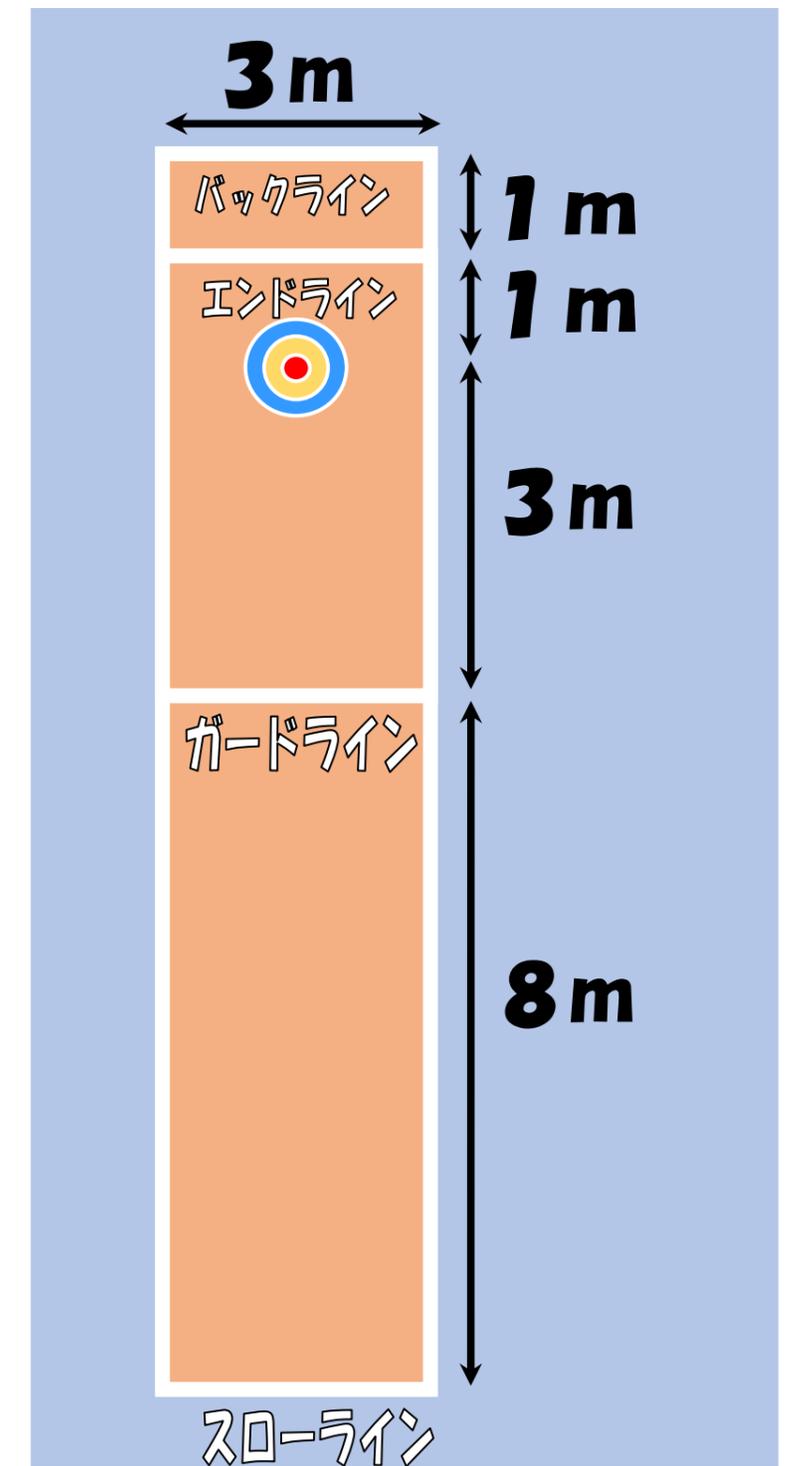
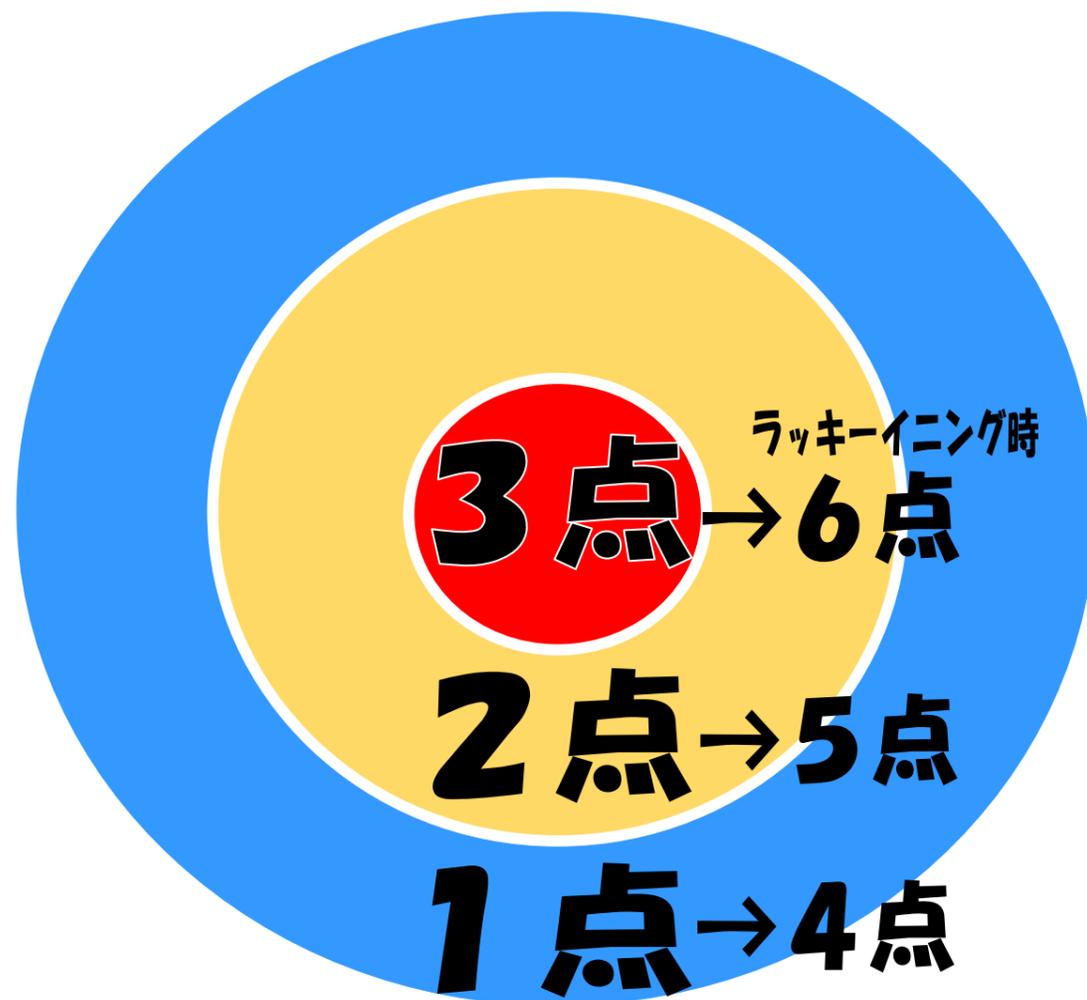
CUROLLING (カローリング) 基本ルール: 勝敗について

- **ジェットローラーをポイントゾーンの中心の一番近くに停止させたチームが勝ち。**
- **ジェットローラーの停止位置により得点が決まる。**
- **6イニング行い、総得点の多いチームの勝ち。**
- **5イニングはラッキーイニング。**
※(3点・2点・1点)が(6点・5点・4点)となり、逆転のチャンス。

CUROLLING (カローリング) 基本ルール: 得点の数え方

ポイントゾーン ※直径90 cm

赤色3点、黄色2点、青色1点



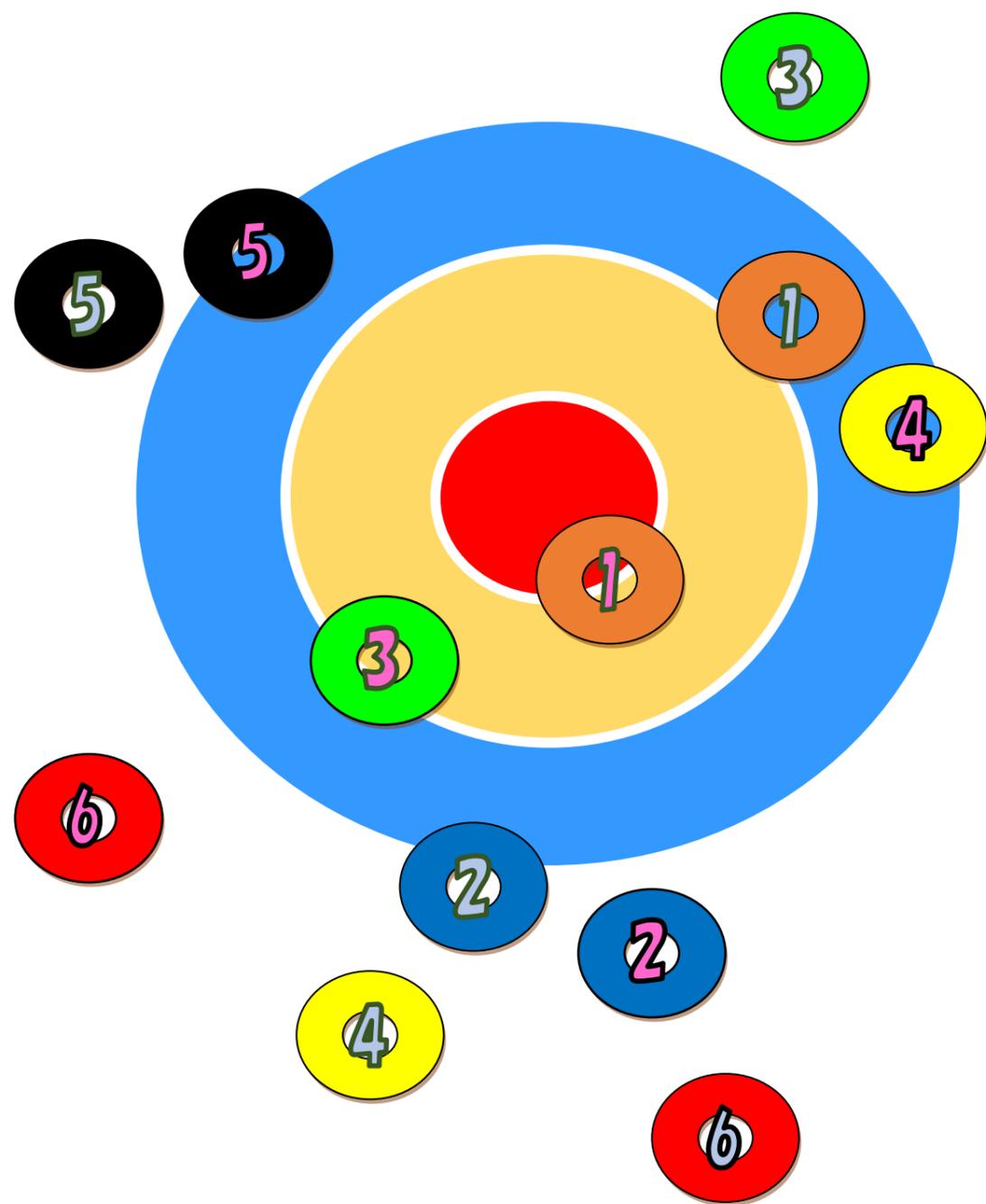
CUROLLING (カローリング) 基本ルール: 得点の数え方

- **両チームが全投球を終えたときに、
中心に1番近いチームに得点が入ります!!**
- **負けのチームは、ポイントゾーンにいくつあっても0点です。**
- **勝ちチーム得点は、負けチームの中心に一番近いジェット
ローラーよりも内側にあるローラーのポイントの合計です。**

例えばこの場合は・・・

※数字は投球順

※テーブルの色でチーム分け…Aチーム、Bチーム



Aチームに得点が入ります。

Bチームも円の中に入れていますが、中心により近くに置いて
いるのはAチームだからです。

また、その中で得点としてカウントされるのは、**相手チームの
ものよりも内側の2つ**(Aチームの1と3のローラー)だけです。

☆結果…Aチーム 3点+2点=5点 Bチーム 0点です。

試合形式、ルールの変更OK!

例えば……

☆ポイントゾーンまでの距離を11mよりも短くする。

☆時間短縮のためにイニング数を減らす。

☆ラッキーイニングを設けない。

など団体の実態に応じた変更が可能です。

他にも……

☆チーム数が多いときに全員が投球できるようにする工夫

→使用するジェットローラーを1チーム3個にして、3コートや4コート設営し、その分イニング数を増やす。

☆両チームが得点のよろこびを実感できるようにする得点の数え方の工夫

→イニング終了時にジェットローラー停止ゾーンのポイント合計をそのまま得点としてカウントする。

